

3 . 技術アドバイザー国内委員会の 今後の進め方

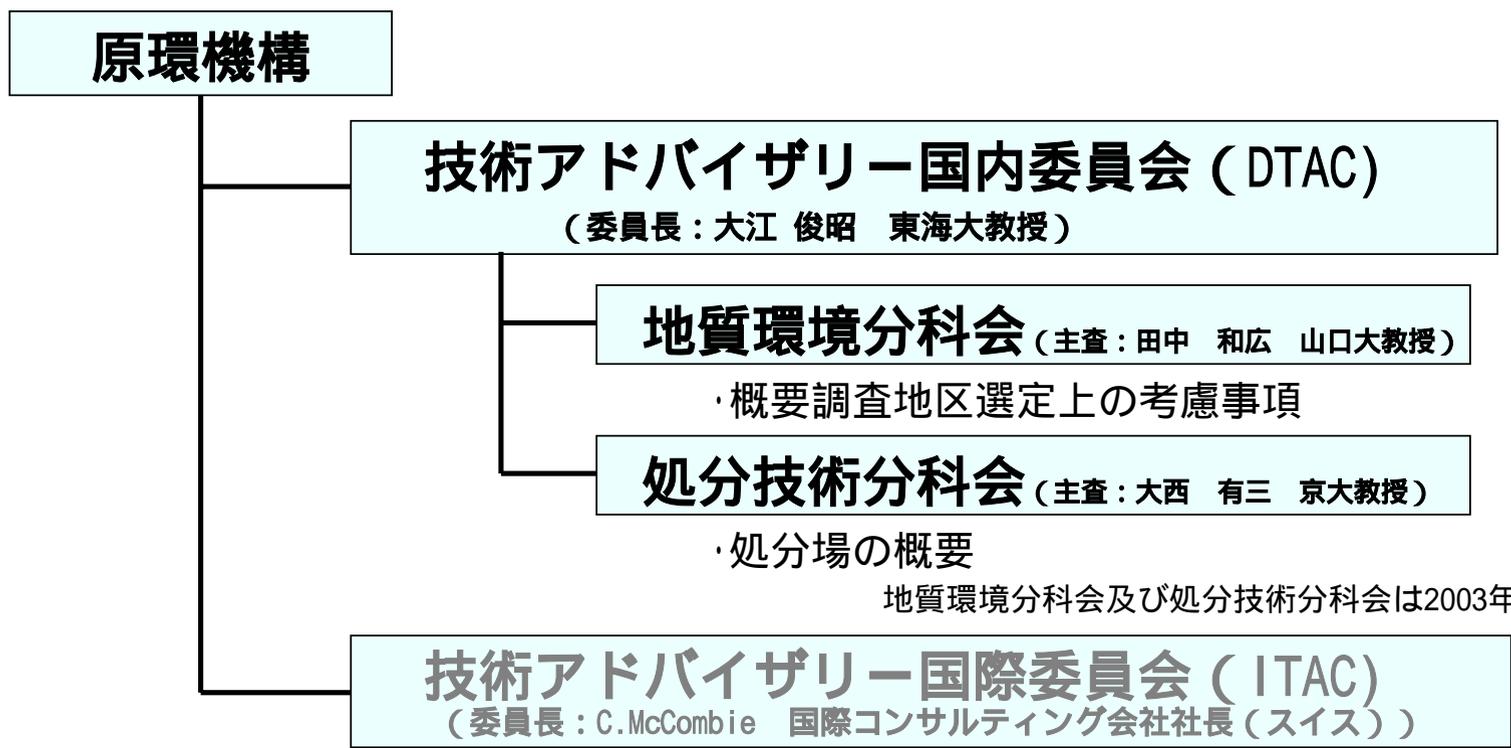
技術アドバイザー国内委員会（第8回）
及び専門委員会合(合同開催)

2006年10月16日（月）

原子力発電環境整備機構(NUMO)

技術アドバイザー委員会の構成 (2001年6月～2003年3月)

目的：
 原環機構の概要調査地区等の選定や技術開発等の技術的検討に対し，科学的根拠や取りまとめの妥当性等について，学識経験者から広く意見を聴取し内容の充実と客観性の確保を図る。



地質環境分科会及び処分技術分科会は2003年3月まで

技術アドバイザー国内委員会の活動

• 2001年～2004年度

- 公募関係資料やそれらの詳細技術報告書等に対するに助言
- 技術開発など技術業務全般にわたる助言
- 公開の技術報告会 (NUMO主催) への出席

公募関係資料

2002年12月19日，全国の市町村を対象に「高レベル放射性廃棄物の最終処分施設の設置可能性を調査する区域」（応募区域）の公募を開始

公募関係資料

公募にあたって
— 高レベル放射性廃棄物処理施設— 候補地選定に向けて —

応募要領

処分場の概要

概要調査地区
選定上の
考慮事項

地域共生への取組み
— 地域と事業を結ぶために —

応募要領

処分場の概要

概要調査地区
選定上の考慮事項

地域共生への取組み

技術報告書の作成，技術報告会の開催

「処分場の概要」と「概要調査地区選定上の考慮事項」の背景となる考え方や科学的・技術的根拠とした情報，データ及び関連資料を紹介



左: 概要調査地区選定上の考慮事項の背景と技術的根拠
- 『概要調査地区選定上の考慮事項』の説明資料 - (原環機構, 2004a)

右: 高レベル放射性廃棄物地層処分の技術と安全性
- 『処分場の概要』の説明資料 - (原環機構, 2004b)

NUMO技術報告会(地層処分事業の技術的基礎)
2004年6月1日 経団連ホール

技術アドバイザーー国内委員会の活動

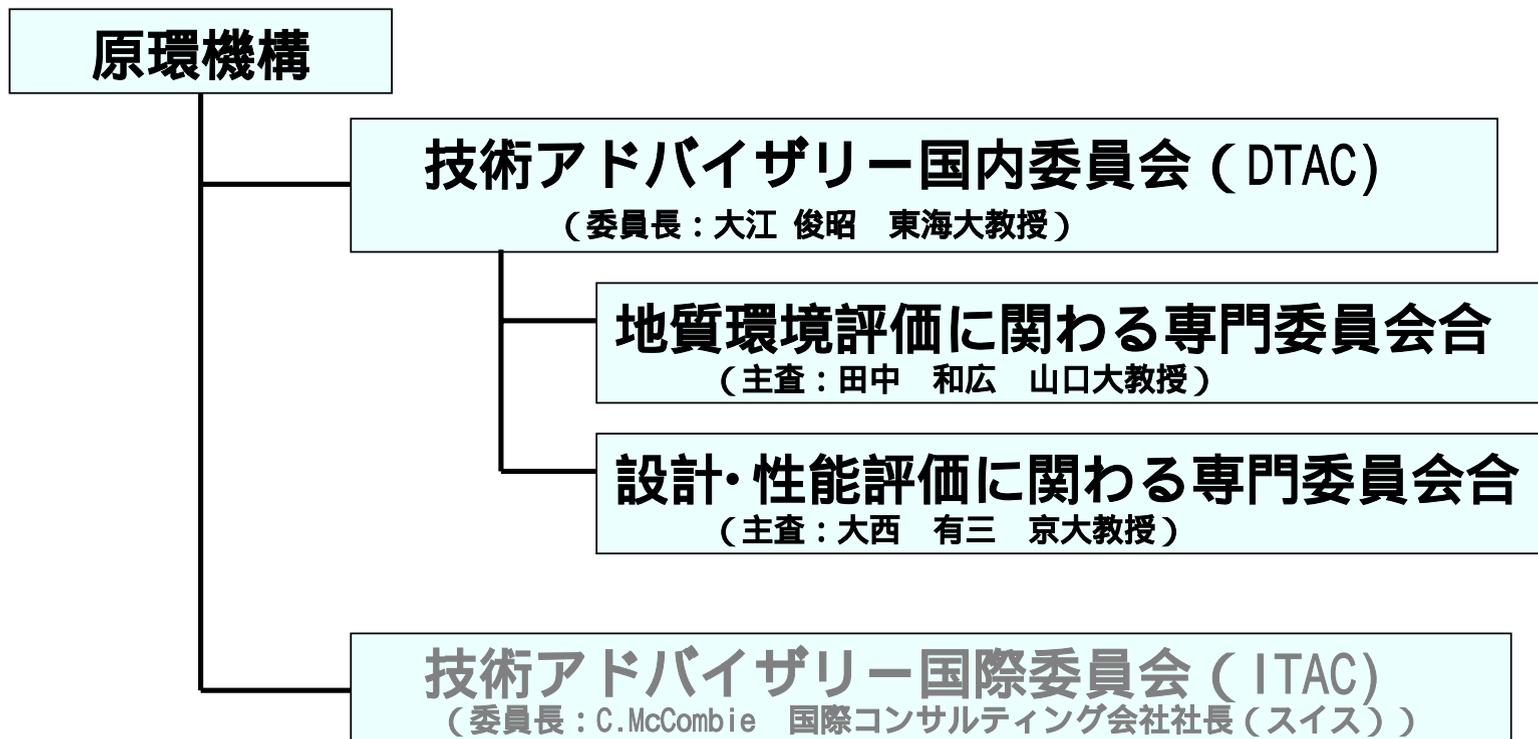
• 2001年～2004年度

- 公募関係資料やそれらの詳細技術報告書等に対するに助言
- 技術開発など技術業務全般にわたる助言
- 公開の技術報告会 (NUMO主催) への出席

• 2006年～

- 概要調査地区選定に関わる技術資料等への助言
- 技術開発など技術業務全般にわたる助言
- 地元説明会, アドホックな報告会, ワークショップ等への出席

技術アドバイザー委員会の構成 (2006年10月～)



技術アドバイザー国内委員会 委員

(敬称略, 50音順)

- 委員長 大江 俊昭 (東海大学)
- 委員 市川 康明 (名古屋大学)
- 〃 梅木 博之 (日本原子力研究開発機構)
- 〃 大西 有三 (京都大学)
- 〃 鎌田 浩毅 (京都大学)
- 〃 河西 基 (電力中央研究所)
- 〃 岸野 順子 (サンケイリビング新聞社)
- 〃 田中 和広 (山口大学)
- 〃 中村 浩美 (中村浩美事務所)

(9名)

専門委員会合の構成

(敬称略, 50音順)

地質環境評価に関わる 専門委員会合		設計・性能評価に関わる 専門委員会合	
主査 委員	田中和広(山口大学) 金折裕司(山口大学) 鎌田浩毅(京都大学) 木村 学(東京大学) 杉山雄一(産業技術総合研究所) 高橋正樹(日本大学) 徳永朋祥(東京大学) 平田 直(東京大学) 吉田英一(名古屋大学)	主査 委員	大西有三(京都大学) 芥川真一(神戸大学) 出光一哉(九州大学) 井上博之(大阪府立大学) 梅木博之(日本原子力研究開発機構) 木村英雄(日本原子力研究開発機構) 坂井悦郎(東京工業大学) 佐藤 努(北海道大学) 徳永朋祥(東京大学) 新堀雄一(東北大学)

委員会活動の基本方針(1)

- DTAC

1. DTAC(ITACも同様)では,機構の技術業務のうち最重要事項について,大局的な視点(トップレベル)から妥当性・的確性に対する助言を得ることを目的とする。
2. 年1回程度の開催頻度とし,必要に応じ,ITACとの合同開催も実施する。
3. 事業(サイト選定)の顕著な進展が見られない場合にもDTAC(ITACも同様)を年1回程度は開催し,年度の活動報告,次年度の活動計画等を紹介する。

委員会活動の基本方針(2)

● 専門委員会合

1. 「地質環境評価に関わる専門委員会合」、「設計・性能評価に関わる専門委員会合」の2つを中心とし、主に公表する技術資料およびそれに関連する技術業務の科学的・技術的な客観性・妥当性を確認し助言を得る。
2. 年数回程度の開催頻度とし、必要に応じ、柔軟に開催する。
3. 事業(サイト選定)の顕著な進展が見られない場合にもDTACと一緒に年1回程度は開催し、年度の活動報告、次年度の活動計画等を紹介する。

アドホックな報告会，ワークショップ等への出席

• これまでに開催したワークショップ等

- 技術報告会(「処分場の概要」と「概要調査地区選定上の考慮事項」の背景となる考え方や科学的・技術的根拠とした情報，データ及び関連資料を紹介)
- 国際テクトニクスミーティング(ITM)
- 処分場概念構築ワークショップ(RC-WS)
- セメント-ベントナイト相互影響に関するワークショップ
- ニアフィールド評価に関するワークショップ(NF-WS)
- 自主基準(Working Standard)に関するワークショップ

• 今後

- テーマ毎必要に応じアドホックなワークショップ等を開催
- 出席者は，関連する分野の学識経験者の他，技術アドバイザリー委員会の委員も含めて関係諸機関に依頼

専門委員会合での審議事項

▶ 地質環境評価に関わる専門委員会合

1. 文献調査で収集した文献の品質等の評価
2. 考慮事項への適合性の評価等に関する妥当性の評価
3. 「収集文献リスト」, 「選定報告書」のレビュー
4. 「精密調査地区選定上の考慮事項」, 「概要調査計画書」への助言
5. 概要調査技術・評価手法の開発・実証について議論

▶ 設計・性能評価に関わる専門委員会合

1. 応募区域における処分場概念構築のための設計・性能評価に関する妥当性の評価
2. 「処分場の概要」のレビュー
3. 設計・性能評価に関わる技術開発等について議論